

今後の取組について

トラック輸送における取引環境・労働時間改善
茨城県協議会 事務局

令和8年3月13日

【重点取組事項】

1. 物流DXを推進するためのアンケート調査の実施

- ・今回のトラック協会アンケート結果において、多くのトラック事業者が「ドライバー不足」や「労働時間短縮」などの課題・問題を抱えていることが明らかとなった。また、荷主・トラック事業者の好事例紹介では、事業規模及び業種・業態によって様々な問題を抱えている状況にあり、荷主・トラック事業者は共通して「人材不足」が大きな課題ということが判明した。
- ・これら人材不足の課題を解決するには、**物流DXの推進・導入を促進することが非常に重要**であり、今後、**物流DXをどのように活用していくか**、を業種・業態のターゲットを絞り込んだ上で調査を実施し、**協議会の場で検討**する。

2. 好事例で挙げられた諸問題のトレース、及び新たな好事例発掘への取り組み

- ・今回、好事例をご紹介いただいた4事業者様には、現状の課題・解決に向けた取り組みを今後も**情報共有**していただく。
- ・事務局は、**業種・業態の異なるその他の好事例を掘り起こす**。
- ・今後、協議会委員にも協力を仰ぎ、荷主及びトラック事業者の皆様に向けて好事例の情報共有を図っていく。

2022年度 R4年度	2023年度 R5年度	2024年度 R6年度	2025年度 R7年度	2026年度～ R8年度～
<p>「加工食品」および「飲料・酒」の輸送における取引環境適正化及び労働時間の改善</p>	<p>ヒアリング及びアンケート調査により改善事例及び課題の収集・周知</p>	<p>時間外労働の上限規制適用</p>	<p>長時間労働の実態及び解消に向けた取組の調査・好事例の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の荷主及び運送事業者に対し、アンケート調査等を行い、実態を把握する。 ・県内の荷主及び運送事業者に対し、上記調査で収集した好事例を協議会で周知を行い、地域企業間での連携促進を図る。 	<p>1. 物流DXを推進するためのアンケート調査の実施</p>
<p>荷主、運送事業者への働きかけ等の実施</p>		<p>2. 好事例で挙げられた諸問題のトレース、及び新たな好事例発掘への取り組み</p>		<p>※トラック・物流Gメンで得られた情報を活用しつつ、事務局が一丸となって取り組んでいく。</p>
<p>適正取引・労働時間改善に寄与する制度の周知及び導入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改正労働基準法の内容を含む時間外労働に関する法制度等の周知を行い、理解の促進に向けた説明会を開催する。 				